



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 医学生物学研究所
 コード番号 4557 URL http://www.mbl.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 公政
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 中井 邦彦 TEL 052-238-1901
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	5,335	△2.4	163	1,571.9	126	△14.9	108	△63.7
29年3月期第3四半期	5,464	△6.4	9	—	148	—	299	—

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 121百万円 (△34.8%) 29年3月期第3四半期 186百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	21.05	—
29年3月期第3四半期	57.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	10,107	7,088	70.1	1,370.77
29年3月期	10,296	6,966	67.7	1,347.27

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,088百万円 29年3月期 6,966百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	△3.4	50	△41.3	△20	—	△100	—	△19.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

連結業績予想の修正については、本日（平成30年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	5,211,800株	29年3月期	5,211,800株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	40,953株	29年3月期	40,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	5,170,833株	29年3月期3Q	5,170,920株

（注）当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の業績予想について）

当社は、平成29年6月22日開催の第48回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の連結業績予想は以下のとおりであります。

1株当たり当期純利益 通期 Δ 3円87銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)のわが国経済は、雇用環境の改善など緩やかな回復基調にあるものの、人手不足による国内経済への影響や、米国による保護主義政策、中東情勢の不安定化や北朝鮮情勢の緊迫化など地政学的リスクの高まりなどから、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の売上高は53億35百万円(前年同四半期比2.4%減)、営業利益1億63百万円(前年同四半期比16.7倍)、経常利益1億26百万円(前年同四半期比14.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億8百万円(前年同四半期比63.7%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

(ア) 試薬事業

臨床検査薬分野では、競合等により厳しい状況が継続しているほか、従来連結子会社であった米国MBL International Corporation (MBLI) が持分法適用関連会社となったことが影響したものの、主力である自己免疫疾患検査試薬の皮膚筋炎の診断補助に有用な製品群や、がん関連検査試薬の多発性骨髄腫などの診断補助検査試薬である「FREELITE」の売上が伸長したことなどから、分野全体の売上高は前年同四半期並となりました。

基礎研究用試薬分野では、一部商品や受託サービスの中止やMBLIの非連結化の影響があったものの、モノクローナル抗体製品群の売上が伸長したことや、中国子会社の北京博尔邁生物技术有限公司において昨年より取扱を開始したJSR製品の売上が大幅に伸長したことなどから、当分野全体の売上高は前年同四半期を上回りました。

婦人科関連検査分野では、子宮頸がん検査に関連する試薬等の売上が伸長したことから、当分野全体の売上高は、前年同四半期を上回りました。

一方で、国内グループ企業の再編に伴い売上高が大幅に減少したことにより、試薬事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は52億90百万円(前年同四半期比2.4%減)でしたが、原価改善および経費見直しにより、セグメント利益は1億54百万円(前年同四半期比79.0倍)になりました。

(イ) 投資事業

投資事業においては、ファンドの管理収入により、当第3四半期連結累計期間の売上高は45百万円(前年同四半期比0.4%減)、セグメント利益は8百万円(前年同四半期比12.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(ア) 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は101億7百万円となり、前連結会計年度末に比較して1億89百万円減少しました。

・流動資産：当第3四半期連結会計期間末で57億55百万円となり、前連結会計年度末より4億6百万円減少しました。

これは主に、商品及び製品が59百万円増加した一方で、現金及び預金が4億42百万円減少したためです。

・固定資産：当第3四半期連結会計期間末で43億51百万円となり、前連結会計年度末より2億17百万円増加しました。

1) 有形固定資産は27億8百万円となり、前連結会計年度末より3億26百万円増加しました。

これは主に、建設仮勘定が3億40百万円増加したためです。

2) 無形固定資産は1億10百万円となり、主に償却に伴い前連結会計年度末より2百万円減少しました。

3) 投資その他の資産は15億32百万円となり、前連結会計年度末より1億6百万円減少しました。

これは主に、関係会社長期貸付金が2億10百万円増加した一方で、長期貸付金が1億73百万円、投資有価証券が38百万円、長期前払費用が23百万円減少したためです。

(イ) 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は30億19百万円となり、前連結会計年度末に比較して3億10百万円減少しました。

・流動負債：当第3四半期連結会計期間末で19億64百万円となり、前連結会計年度末より1億97百万円減少しました。

これは主に、その他に含まれる未払消費税等が86百万円、支払手形及び買掛金が51百万円減少したためです。

・固定負債：当第3四半期連結会計期間末で10億55百万円となり、前連結会計年度末より1億13百万円減少しました。

これは主に、長期借入金が1億34百万円減少したためです。

(ウ) 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は70億88百万円となり、前連結会計年度末に比較して1億21百万円増加しました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が1億8百万円増加したためです。

自己資本比率は70.1%（前連結会計年度末は67.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、前回（平成29年4月25日）公表いたしました予想を上回る見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 7,100	百万円 50	百万円 △170	百万円 △189	円 銭 △36.55
今回修正予想 (B)	7,100	50	△20	△100	△19.34
増減額 (B - A)	0	0	150	89	—
増減率 (%)	0.0	0.0	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	7,348	85	64	188	36.50

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

詳細につきましては、本日（平成30年1月30日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に掲載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は様々な要因によって異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,505,992	2,063,984
受取手形及び売掛金	1,707,576	1,716,633
商品及び製品	810,507	870,419
仕掛品	612,011	579,644
原材料及び貯蔵品	454,033	441,290
その他	311,972	102,688
貸倒引当金	△239,798	△19,049
流動資産合計	6,162,295	5,755,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,792,833	1,741,498
機械装置及び運搬具(純額)	48,943	39,820
土地	96,086	96,086
リース資産(純額)	49,453	54,987
建設仮勘定	38,317	378,548
その他(純額)	356,299	397,769
有形固定資産合計	2,381,933	2,708,710
無形固定資産		
のれん	904	593
その他	111,928	109,653
無形固定資産合計	112,833	110,247
投資その他の資産		
投資有価証券	162,741	124,234
長期貸付金	271,305	97,512
関係会社長期貸付金	788,396	998,752
長期前払費用	96,347	73,020
その他	644,385	582,439
貸倒引当金	△323,512	△342,981
投資その他の資産合計	1,639,663	1,532,977
固定資産合計	4,134,429	4,351,935
資産合計	10,296,725	10,107,548

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	306,531	255,076
短期借入金	1,047,634	1,019,996
未払法人税等	61,810	25,695
その他	745,419	663,358
流動負債合計	2,161,396	1,964,126
固定負債		
長期借入金	1,136,497	1,001,530
繰延税金負債	3,767	4,584
その他	28,537	49,284
固定負債合計	1,168,802	1,055,398
負債合計	3,330,198	3,019,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,482,936	4,482,936
資本剰余金	4,198,562	4,198,605
利益剰余金	△1,698,272	△1,589,439
自己株式	△43,754	△43,788
株主資本合計	6,939,471	7,048,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,987	20,898
為替換算調整勘定	8,068	18,812
その他の包括利益累計額合計	27,056	39,711
非支配株主持分	0	0
純資産合計	6,966,527	7,088,023
負債純資産合計	10,296,725	10,107,548

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,464,598	5,335,330
売上原価	2,310,372	2,245,700
売上総利益	3,154,225	3,089,629
販売費及び一般管理費	3,144,456	2,926,297
営業利益	9,769	163,331
営業外収益		
受取利息	9,411	13,519
持分法による投資利益	66,933	—
為替差益	53,852	6,183
保険配当金	5,248	5,102
その他	33,770	19,366
営業外収益合計	169,217	44,171
営業外費用		
支払利息	21,738	13,982
持分法による投資損失	—	63,280
その他	8,259	3,510
営業外費用合計	29,997	80,773
経常利益	148,988	126,729
特別利益		
固定資産売却益	9	—
国庫補助金	15,685	9,351
投資有価証券売却益	57,687	1,599
関係会社株式売却益	20,180	—
新株予約権戻入益	14,288	—
持分変動利益	227,342	—
特別利益合計	335,193	10,951
特別損失		
固定資産除却損	1,087	5,071
固定資産圧縮損	6,720	—
投資有価証券評価損	—	0
投資有価証券売却損	27,213	18
関係会社株式売却損	41,524	—
事業再編損	10,036	—
貸倒引当金繰入額	65,546	—
特別損失合計	152,128	5,090
税金等調整前四半期純利益	332,053	132,590
法人税、住民税及び事業税	32,309	23,757
法人税等合計	32,309	23,757
四半期純利益	299,744	108,832
非支配株主に帰属する四半期純利益	292	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	299,451	108,832

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	299,744	108,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,620	1,911
為替換算調整勘定	△48,730	10,382
持分法適用会社に対する持分相当額	△31,007	360
その他の包括利益合計	△113,357	12,655
四半期包括利益	186,386	121,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	186,509	121,488
非支配株主に係る四半期包括利益	△122	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 ※
	試薬事業	投資事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,419,428	45,170	5,464,598	—	5,464,598
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,419,428	45,170	5,464,598	—	5,464,598
セグメント利益	1,957	7,811	9,769	—	9,769

※ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 ※
	試薬事業	投資事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,290,330	45,000	5,335,330	—	5,335,330
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,290,330	45,000	5,335,330	—	5,335,330
セグメント利益	154,515	8,816	163,331	—	163,331

※ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。